

合資会社山田商店 (蔵元やまだ)

岐阜県加茂郡八百津町

需要獲得
ものづくり

積極的な海外展開で需要を拡大 日本酒を通じ地域活性化を実現する

明治元年の創業。約150年にわたり八百津で酒造りを行う。「長く付き合える酒」を理想とし、自社精米にこだわった丁寧な酒造りを特徴とする。海外展開にも積極的に取り組み、着実に需要を拡大。酒米の特性を最大限に引き出した最上級酒「純米大吟醸玉柏」や、酒米と酵母がオール岐阜県産の純米酒「開」は高い評価を得ており、リニアの最高級ホテルで採用された実績を有する。最近では、定番商品に加え、季節に合わせた限定酒のバリエーション展開を図っている。

所在地	岐阜県加茂郡八百津町八百津3888-2	設立	1868年
電話/FAX	0574-43-0015/0574-43-1148	資本金	1,000万円
URL	https://www.kura-yamada.com/map.html	従業員数	6人
代表者	代表社員 山田直和 (右写真は、専務 山田一光)		



海外品評会への継続出展と行政との連携事業を活かした海外販路開拓

外部評価を通じて酒の質向上を図るため、フランスの一流ホテルのトップソムリエらが選ぶ日本酒コンクール「KURA MASTER」に初回の2017年から継続参加している。代表銘柄「純米大吟醸玉柏」は3年連続プラチナ賞を受賞し、2019年には部門トップ5に選定された。県による米国、フランス、豪州等での日本酒プロモーションにも参加。獲得した人脈を通じて米国への展開を図っている。限定銘柄「むかしのまんま」(現地名「EVERLASTING ROOTS」)は徐々に販売量を拡大しており、現在年間3,000本を輸出する。



海外における日本酒プロモーション

県産酒米や県開発酵母の活用と日本酒を通じた地域活性化

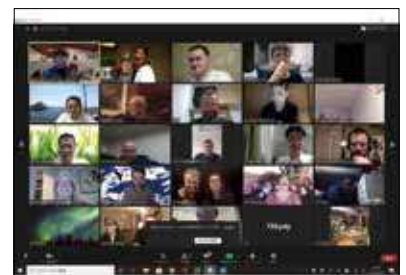
酒米に、岐阜県産の酒米「ひだほまれ」を使用。県開発の酵母とともにオール岐阜県産の純米酒「開」は、2018年の「KURA MASTER」で金賞を受賞した。また、町出身の偉人杉原千畝氏の功績を国内外に広く伝えたいという思いから、同氏にちなんだラベルの日本酒も販売。杉原千畝氏との縁で岐阜県・八百津町との交流が始まったリニアのホテルやレストランにおいて日本酒プロモーションや町・県のPRを実施するなど、国際交流・地域活性化に貢献している。



オール岐阜で醸造した純米酒「開」

季節限定日本酒の展開とバーチャル蔵見学による新たな需要獲得

酒も食文化の一環を構成するものとして、料理とともに旬を味わえるよう季節限定商品の製造に取り組む。時期を同じくして仕込んだ日本酒について、杜氏の高い技術により四季それぞれの味わいに変化させ、限定商品として販売展開している。また、コロナ禍で海外に直接出向いてのプロモーションが困難となったため、豪州に向けて現地と酒蔵をオンラインでつなぐ「バーチャル蔵見学」に挑戦。蔵元とファンが画面上でつながり、直接コミュニケーションを図ることで、多くの共感を呼ぶことができた。



蔵元とファンをつなぐバーチャル蔵見学

需要獲得

ものづくり